

◆謎の本で学ぶこと

中川根中3年 駒澤志歩こまざわしほ



方ないことなのでしょう。この本を読んで、ドラッグとは法律で禁じられていて恐ろしいものではあるけれど、その種類はたくさんで時には人を助けることもできること、自分の身近な酒、タバコが当たり前に広がっていて、それらも大量に長期間摂取すると体や心に深刻なダメージを与え、時には死に至らしめることなど、自分の頭の中で思っていたドラッグとは少し違っていました。これから僕たちが生きていく中で、将来ドラッグ世代と言われないように、強い意志を持った人間にならなければと感じました。

私は、この本を読んで涙してしまいました。でも、その理由は自分でもわかりません。そして、この本を読み終わってもなかなかすっきりしないのです。きっと私は、この本の内容を理解しているようで、理解していない所があると思います。なぜなら、この本は謎だらけだからです。

まず、王子さまが大きな謎です。例えば、なぜ自分の質問は答えてくれるまで聞き続けるのに、ほとくの質問にはまともに答えないのか、ということ。王子さまだから、という理由で解決するかもしれないませんが、私の中ではモヤモヤしたままです。私は、実際に王子さまと会ってお話を

してみたいです。話すのも一苦労だと思いますが、なんとなく楽しそうです。話の中で、私は王子さまに聞いてみたいことがあります。なぜ、王子さまは自分の星を出てきたかということ。王子さまは、花のことがだんだん嫌になりました。私もあの花とお話したら、きっと嫌になると思っています。でも王子さまは、花はとても矛盾した性格ということを知っているのです。いくら愛し方がわからないといっても、星を出て行く必要はなかったと思います。

こんな謎が多い王子さまが出てくる不思議な本ですが、私はいろいろなことを学びました。

私は王子さまのようにキツネを飼い慣らしたいです。キツネと友達になりたいです。このキツネと一緒にいれば、学校で学べないことが、たくさん学べると思います。私は、キツネの「ものは心で見える。肝心なことは目では見えません。」という言葉が好きです。(確かにそうだなあ。)と思いました。今の時代、見た目で人を判断する人が増えている

と思います。私もその内の一人です。確かに身だしなみは大事だと思います。でも、顔を見ただけで嫌がったりする人もいます。それは、その人に対してすごく失礼だと思います。そして、いじめなどの原因が見ただけだったりします。心と心が通じ合い、初めて互いのことが分かり合えると思います。人はやっぱり見た目でなく、心が大切です。

この本を読んで私が涙したのは、最後のお別れの場面です。せつかくほとく友達になれたのに、王子さまには責任があります。王子さまは、地球を出たくなかったでしょう。王子さまとほとくの絆は、かなり深くなっていたと思います。出会いに別れはつきものですが、別れるときは誰でも淋しいです。この別れを通して、ほとくは成長したと思います。そして、二人は離ればなれになってしまいました。空で通じ合っていると思います。私もよく空を見ます。星が好きで、星に話しかける時もあります。もしかして私にも、星が笑っているように見えるかもしれません。ちな